



気づき、気づかい、築く



宿泊訓練を終えて

5月22日、23日に最初の大きな行事である宿泊訓練に行ってきました。一週間ほど前から天気予報が気になり、クラスによってはてるてる坊主を作って迎えた当日は、天候に恵まれたものとなりました。宿泊訓練で学んだことを写真と生徒の感想から振り返ってみたいと思います。



ふれあいパークへ向けてのハイキング

「潮風公園からふれあいパークまで思った以上に距離があったけど、途中見える景色がよくて気持ちよく登ることが出来ました。」

「山を登るにつれて、足が痛くて大変だったけど、友達が声をかけてくれたので、最後までがんばれました。」

AFPY(グループワーク)

ヘリウムフープと呼ばれる活動に取り組みました。フラフープを円になるように囲み、人差し指だけで床まで降ろしていきます。下げようとしているのに、支えなくてはならないという気持ちから、自然とフープは上に上がってしまいます。グループの協力が試されます。

「相手の気持ちを考えて行動することや、優しく伝えることの大切さが分かりました。」

「最初はうまくいかなかったけど、みんなで意見を出し合ってうまくいったので嬉しかったです。」



勾玉づくり

四角い石を粗いやすりで削り、だんだんと細かいやすりを使ってピカピカにしていきます。それぞれが世界に一つの勾玉を作ることが出来ました。

「こつを教えてあげたり、教えてもらったりして作りました。うまくできた良かったです。」

「片付けでみんなの雑巾を丁寧に仕分けている人がいてすごいなと思いました。」

キャンドルの集い

スペシャルゲストである火の神がやってきて、人間の営み、火の尊さについてお話をしてくださいました。すべてのプログラムを実施することはできませんでしたが、実行委員のレクリエーションをみんなで楽しみました。そしてよりよい学年を築いていくことを、実行委員の言葉で誓いました。



「予定通りにいかなかったのが、せっかく考えてくれた実行委員の人に申し訳なかったです。でも、じゃんけん大会やビンゴをみんなでできてよかったです。」
「誓いの言葉のとおり、いい学年を築いていきたいです。」
「火の神は校長先生だったと思うけど、じっと動かず座っておられてすごいと思った。もっといい姿を見せないといけないと思った。」



野外炊事(カレー)

二日目メインとなるカレー作り。かまど係、食材調理係、ごはん食器係と役割分担をして臨みます。作って、食べて、片付けるという全ての中で、班員と協力することが試されました。早く終わった班の中には前日に使用したホールを清掃してくれた班もあります。たくさんの「気づかい」が見られました。



「かまど係の人が動かず、ずっとかまどのことをやってくれたおかげでお米が炊けました。」
「作り終わりにみんなで食べるととてもおいしかったので協力してよかったなと思いました。」
「自分の皿じゃないものも洗ったりできました。みんなが協力することでおいしいカレーや、片付けがはやくできました。」



宿泊訓練を通して学んだことをどう生かしていくか

「集団行動は自分のことだけ意識するのではなく集団として意識することが大切だと分かったから、声掛けをしていきたいです。」

「宿泊訓練では5分前集合ができていたので、移動教室でも早めに動いて間に合わせるようにしたいです。」

生徒の感想にあるように、途中メリハリがなく、上手いかないこともありました。しかし、課題を前向きに捉え、時間を大切にできている生徒も増えたように思います。これからの学校生活の中でもこの経験をぜひ生かしてほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、準備から多大なご協力をいただきありがとうございました。